

# 京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第270号

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター  
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

## 京都総評 第93回定期大会

日時 9月3日(土) 13時~16時30分

会場 ラポール京都ホール

### 最低賃金31円引き上げ 968円に

物価高騰に追い付かない引き上げ額  
8月10日、京都地方最低賃金審議会が2022年度の最低賃金改定について、中央最低賃金審議会の目安を参考に、31円引き上げを答申しました。昨年を上回る引き上げ額ですが、それでも時間給968円で1000円に届かない水準です。また、3%程度の物価上昇を考慮すれば

労働局へ最賃引き上げを要請  
「最賃1500円実現求めて」  
京都総評は、最低生計費試算調査で明らか



になった、京都で普通に一人暮らしするためには、時給1600円以上、月額24万円以上必要だとの結果をもとに、「最賃1500円実現」を求めました。



7月20日 最賃デモ

コロナ禍は、社会の矛盾を顕在化させてつづけています。国の病院・病床削減と、自治体リストラ路線によって、医療・公衆衛生など公共体制が弱

### 人間的連帯と相互支援の社会に転換を

京都総評は、9月3日に第93回定期大会を開催します。新型コロナウイルス感染症が急拡大している状況を踏まえて、今大会も開催時間を短縮し、午後のみの日程で行います。活発な討論で盛りある大会になるよう、各組織で大会議案をしっかり討議して参加しましょう。

### 最賃1500円実現!

### 憲法9条改憲ストップ!

体化させられ、医療や公衆衛生の現場の懸命な努力にもかかわらず、国内で3万人の人々が命を失う事態となり、感染拡大は止まりません。また、労働者は、コロナによる事業縮小・シフト減などによって、収入が激減し、特に、非正規や女性に被害が集中しました。弱肉強食による企業利益最優先、自己責任を押し付けて公共の力をそぎ落としていく新自由主義路線の継続か、新しい社会への転換に踏み出すの

# 第93回定期大会を成功させよう いのちと暮らしが 何より大切にされる社会へ



最賃つちでアピール

この危機に乗じて、憲法9条改憲で戦争する国をめざし、大軍拡をすすめようとしていることは、平和と反戦を求める国際世論からも孤立する道です。これは、危機をあおることで国民統合をはかり、国民主権をないがしるにして、上から管理統制する国家づくりと一体です。これらの方針を許さず、二度と戦争はしない、戦力は持たない、日本国憲法のために労働組合を結成してたたかっていた争議の物語。当時から派遣は雇用の調整弁と言われ急増。現在では派遣など「非正規」で働く労働者数は全労働者の40%を超えています。▼今、政府・財界は、正社員をも自由に解雇できる「解雇の金銭解決制度」の導入を狙っています。この制度は裁判で不当解雇とされても一定の金銭を払えば解雇可能となる悪法です。▼この制度を使えば、企業にとって「好からぬ」労働者を狙い撃ち解雇できます。財界が1995年に発表した「新時代の日本の経営」で打ち出した労働力の弾力化、流動化の「完成形」に近づこうことになり

### 労働組合の役割が重要

ロシアによるウクライナ侵略は、世界に武力一刃倒れ、対話による平和

### 労働組合を大きくし、活動を強化しよう

私たちの労働組合そのものの活動の強化が重要であることが重要です。労働組合活動の可視化をすすめる、とりわけ困難が集中している非正規雇用や女性労働者へのアプローチと組織化を追求します。労働組合が労働者自身の生活・権利の保障はもちろぬ、「良い仕事があったら」「地元で貢献したい」という願いに応えられ、地域循環型

### 「19の日」行動で改憲反対をアピール

8時間働けば普通に暮らせるディーセントワークの確立、労働者の権利と生活の向上、平和で住み生き続けられる地域の確立に向けて、①全ての労働者のゆとりある生活と労働の確保、②地域の「公共」を取り戻し、持続可能な地域循環型の経済・社会の確立、③平和憲法をいかに政治への転換を図ることを目指し、単産・地区労協が力を併せて取り組みを進めましょう。

## TUBUYAKI

「同じ仕事をしているのに、いらないならポイはねえんじやないですか」  
かたて法廷で訴える原告の姿が印象的だった映画「時の行路」が再び京都で上映されます▼この映画は、リーマンショックの嵐が吹き荒れた2008年末、いすゞ自動車が多額の派遣工を解雇。これに抗し自ら仲間を雇い入れるために労働組合を結成してたたかっていた争議の物語。当時から派遣は雇用の調整弁と言われ急増。現在では派遣など「非正規」で働く労働者数は全労働者の40%を超えています。▼今、政府・財界は、正社員をも自由に解雇できる「解雇の金銭解決制度」の導入を狙っています。この制度は裁判で不当解雇とされても一定の金銭を払えば解雇可能となる悪法です。▼この制度を使えば、企業にとって「好からぬ」労働者を狙い撃ち解雇できます。財界が1995年に発表した「新時代の日本の経営」で打ち出した労働力の弾力化、流動化の「完成形」に近づこうことになり

# 平和の想い心ひとつに、今こそ

## 第42回 平和のための京都の戦争展



**2つの戦争を比べる**

特別企画  
**ウクライナ戦争と日中戦争**  
— その類似性と危険性 —

明治大学文学部教授の山田朗氏が講演。山田氏は類似性として「日中戦争では満州事変と満州国建国を成功事例と認識し、成功を繰り返そうと日中戦争へすすんだ。今回はロシアがクリミア併合を成功事例と考へ、ウ

クライナ侵略をすすめた、一方侵略戦争を仕掛けた側の誤算一撃によって相手が降伏、あるいは政権が崩壊すると見た失敗も類似しているとし、「日中戦争では蒋介石政権打倒へとエスカレートさせたが政権は屈服せず、今回はキーウへの侵攻でゼレンスキー政権崩壊を策すもウクライナが屈していない」と指摘。危険性

42回目となる平和のための京都の戦争展。今年は、ロシアによるウクライナ侵略が続くもとで改めて戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを考える機会として注目されました。特別企画として「ウクライナ戦争と日中戦争」を考へる講演会が開かれ、8日間の戦争展が開催されました。

### 第42回 平和のための京都の戦争展

### 戦争展の様子



展示コーナーでは、様々な資料が展示され、多くの参加者が熱心に参観し、説明に聞き入っていました。今年は宇治山宣会が屏風仕立てに改修した「山宣死顔絵」がはじめて展示され、注目されていました。



日本の軍拡の危険性

ウクライナ戦争に乗じて「日本はこれまでになく軍拡期に突入」しているとし、「中国との軍拡競争を加速される恐れ」があり、「無謀な競争」となってしまう危険性や「予算的量的拡大が兵器体系の質的転換を促すことにつながる」ことを指摘され、過去の戦争から教訓を学び、憲法を生かした平和外交こそ重要だと強調されました。

### 全労連第31回大会開かれる

### すべての大幅賃上げ、労働者の政治への転換を

全労連第31回定期大会が7月27日・28日の3日間、東京・砂防会館にて開催されました。コロナ感染が急拡大する中で京都からは4人が会場、4人がオンラインで代議員として参加しました。全労連からは、すべての労働者の大幅賃上げ、奪われた「公共」を取り戻す運動、平和憲法を生かす政治への転換などを掲げた運動方針が提案されました。

京都からは伊藤事務局長が地域組織の再開・強化に関して「ブロック



全労連大会で発言する梶川議長

交流会議開催での前進点」「組織強化にむけての課題点」「地域とのつながりで作った運動」

### 住民の要求あるところに地区労あり

中京地区労



7月2日の市内網の自行進

中止が相次いでいます。事務所のある商店街と協力して毎月1回の落語会「桂三風の西新道亭」を開いたり、月2回の「ひだまりサロン」などお年寄りに喜ばれて大盛況です。

また、5月の食材支援&青年・学生生活相談会に続き、6月25日には商

### 地区労協の活動 地域に労働組合の姿を

中京地区労は地域に密着し、住民の要求あるところへ活動しています。コロナ禍で労働組合の運動にも制約があるため、オンラインでの会議や催しの

また、5月の食材支援&青年・学生生活相談会に続き、6月25日には商

「わが青春つらさとも」伊藤千代子の生涯」中京上映実行委員会を結成して、上映成功のために奮闘しています。

### あなたの撮っておき写真募集中!

【応募方法】①画像1枚、②タイトル、③コメント100~200字程度、④お名前、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カードを贈呈します。

### 撮っておき



### カフェの入り口に

京都総評 伊藤 修平

ウクライナ戦争が長引き、多くの罪なき市民の命が奪われ、傷つけられていることに心をいためています。入り口にウクライナ

カラーの「戦争反対・NOW WAR」のステッカーを張ったカフェを発見。カフェでは、ウクライナ由来のお菓子を一つ一つ販売し、売り上げの一部をウクライナ支援の募金にしているとのこと。

街頭宣伝やデモなどでアピールすることも大事だけれど、自分の出来る範囲で「戦争反対」「平和が大事」とアピールしていく人がもつともっと増えたいいなと思いつながらのコーナータイムでした。